

プレスリリース

2026年3月19日（木）
県政記者クラブ同時発表



愛知県陶磁美術館
AICHI PREFECTURAL CERAMIC MUSEUM

特別展 巨匠ハインツ・ヴェルナーの メルヘン 描いた物語 —現代マイセンの磁器芸術—



2026年5月30日(土)－9月27日(日)

《展覧会概要》

ヨーロッパを代表する**名窯、マイセン**。現在のドイツ、ザクセン州の古都・マイセンで18世紀に王立の磁器製作所として創業しました。ヨーロッパ初の磁器焼成に成功したマイセンは、現在まで多くの名品を世に送り出してきました。

日本においては初期のマイセン製品が特に人気を集めてきましたが、実は1960年頃からのいわゆる「**現代マイセン**」にも知られざる優れた製品が数多く存在します。マイセンの培った高度な磁器作りの技術と、成型・デザイン・人形制作などの芸術家グループの豊かな才能が合わさって生み出された磁器は、極めて質が高く、まさに“磁器芸術”と言えるものでしょう。

本展では、現代マイセンを代表する《アラビアンナイト》《サマーナイト》《ブルーオーキッド》などのシリーズを生み出した**巨匠ハインツ・ヴェルナー（1928-2019）**の作品を紹介します。

ヴェルナーはドレスデン芸術アカデミーの分校として1764年に設立されたマイセン養成学校で絵付けを学び、後に様々な名作のデザインを手掛けました。ヴェルナーがデザインを手がけた多彩なサービスウェアの数々、プラーク（陶板画）などの作品を通して、その魅力を体感していただけるでしょう。

また、ヴェルナー自身が残した「**日本は第二の故郷**」という言葉のとおり、大変な親日家としても知られ、芸術的表現において日本にちなんだデザインを生み出すなど日本との関わりも深い人物です。

本展は、**巨匠ハインツ・ヴェルナーに焦点を当てた初の展覧会**となります。ヴェルナーが創作した名作を中心に、現代マイセンの美しき磁器芸術をご紹介します。



ハインツ・ヴェルナー氏（1993年撮影）



マイセンの工房：下絵を元に絵付けの作業を行う様子



マイセンの絵付けの技法を学ぶ専門学校

《基本情報》

展覧会名	特別展「巨匠ハインツ・ヴェルナーの描いた物語 ー現代マイセンの磁器芸術ー」
会 期	2026年5月30日（土）～9月27日（日）
開館時間	5月30日（土）～6月30日（火）9:30～16:30 7月1日（水）～9月27日（日）9:30～17:00 ※いずれも入館は閉館の30分前まで
休 館 日	毎週月曜日 ただし7月20日（月・祝）、9月21日（月・祝）は開館し、7月21日（火）は休館
観 覧 料	一般1,400円(1,120円)、大学生1,200円(960円) 高校生以下無料 ※20名以上の団体は()内の割引料金 ※各種割引制度あり。詳しくは当館公式サイトをご覧ください。
会 場	愛知県陶磁美術館 〒489-0965 愛知県瀬戸市南山口町234 TEL:0561-84-7474
主 催	愛知県陶磁美術館
監 修	荒川正明氏（学習院大学教授）
特別協力	アンティークアーカイヴ
協 力	マイセン磁器日本総代理店 ジーケージャパンエージェンシー株式会社
企画協力	株式会社キュレイターズ
後 援	愛知県教育委員会、愛知高速交通株式会社（リニモ）

《開会式及びメディア担当者向けプレスツアー》

本展関係者を招待した開会式及びメディア担当者向けプレスツアーを開催します。プレスツアーでは当館学芸員が展示の見どころをご案内します。

・メディア担当者向けプレスツアー

日 時	2026年 5 月29日(金)午後1時から午後2時
会 場	愛知県陶磁美術館 本館 1 階 展示室 1 -A、1-B
留意事項	参加を御希望の方は、2026年 5 月28日（木）までに下記問い合わせ先Emailへお申込みください。

・開会式

メディア担当者向けプレスツアーに引き続き、開会式もご取材いただけます。

日 時	2026年 5 月29日(金)午後2時から午後2時30分頃
会 場	愛知県陶磁美術館 本館 1 階 ロビー
内 容	主催者挨拶、来賓挨拶、関連事業紹介

《お問い合わせ先》

愛知県陶磁美術館 展覧会主担当：佐久間真子(主任学芸員)、副担当：澤井祐輝（学芸員）
TEL: 0561-84-7474 FAX: 0561-84-4932
E-mail : touji@pref.aichi.lg.jp/ 4 月 1 日以降はtouji@apm.or.jp

《展示構成・出品作品》（予定）

本展は泉屋博古館東京、郡山市立美術館を巡回してきましたが、愛知県陶磁美術館会場では、さらに作品を追加し、巡回中最も規模の大きな展示となります。

※広報用の高精細画像につきましては、愛知県陶磁美術館担当までお問い合わせください

◇プロローグ：名窯の誕生

18世紀の伝統的なマイセン製品と、その手本となった17世紀の柿右衛門窯の製品などを交え、名窯マイセンの誕生と歴史を紹介します。



・西欧が憧れた日本の「柿右衛門」

画像①《色絵龍虎図輪花皿》
いろえ りゅうこ ず りんかざら 肥前有田
江戸時代中期（1670-90年代）
愛知県陶磁美術館蔵



・マイセンは柿右衛門写しから始まった

画像②《色絵梅竹虎図皿》
いろ えばいちく こ ずさら マイセン
1740年代
愛知県陶磁美術館蔵

◇第1章：磁器芸術の芽吹き

東ドイツ時代のマイセン養成学校で、絵付師となるべく厳格な教育を受けたヴェルナー。「芸術の発展を目指すグループ」のひとりとしてデビューした直後の1960年代初期の作品を紹介します。



・ハインツ・ヴェルナーのデビュー作

画像③《エンゼルフィッシュ》花瓶
マイセン 1958年
装飾：ハインツ・ヴェルナー
器形：ハンス・メルツ
個人蔵



・マイセン創業250周年記念の品

画像④《スウィートビーの文様》コーヒーサービス
マイセン 1962年
装飾：ハインツ・ヴェルナー
器形：エアハルト・グローサー、アレクサンダー・シュトルク、
ルートヴィッヒ・ツェプナーの共作 個人蔵

◇第2章：名シリーズの時代

1960年代後半～1970年代後半にかけてヴェルナーは、《サマーナイト》、《アラビアンナイト》《ミュンヒハウゼン（ほら吹き男爵）》《狩り》《ブルーオーキッド》を始めとした名シリーズを次々と生み出します。シェイクスピアの「真夏の夜の夢」にインスピレーションを得て創作した《サマーナイト》はオーペロンとティターニア像を中心に夢溢れる世界が広がります。あわせてユニカート（1点物）として制作された陶板画なども紹介します。

・メルヘンを題材にしたシリーズの記念碑的作品

画像⑤《ミュンヒハウゼン（ほら吹き男爵）》コーヒーサービス

マイセン 1964年 装飾：ハインツ・ヴェルナー 器形：エアハルト・グローサー、アレクサンダー・シュトルク、ルートヴィヒ・ツェプナーの共作 個人蔵



・あのブルーオニオンに並ぶ名シリーズ

画像⑥《ブルーオーキッド》プレート、カップ&ソーサー

マイセン プレート：1977年 カップ&ソーサー：1978年（1987年頃製作）
装飾：ハインツ・ヴェルナー 器形：ルードヴィヒ・ツェプナー
個人蔵

・マイセンの高度な技術が証される巨大な燭台

画像⑦《狩り》大燭台

マイセン 1973年
装飾：ハインツ・ヴェルナー 彫像：ペーター・シュトラング
個人蔵



・シェイクスピアの『真夏の夜の夢』を描いた傑作

画像⑧ 《サマーナイト》ティーサービス

マイセン 1969年（1974年以降製作） 装飾：ハインツ・ヴェルナー 器形：ルードヴィッヒ・ツェプナー 個人蔵



・きらびやかな王宮の物語。本作は貴重な総柄揃い！

画像⑨ 《アラビアンナイト》コーヒーサービス

マイセン 1966年（1974年以降製作） 装飾：ハインツ・ヴェルナー 器形：ルードヴィッヒ・ツェプナー 個人蔵



◇第3章：光と色彩の時代

1970年代後半からヴェルナーのデザインは、具象を超え、生命力あふれる美しい色と線や面の共演となっていきます。1975年には初来日し、日本の風景を描いた作品も創作します。円熟を見せつつも、常に新しい挑戦に満ちたヴェルナーの作品を紹介します。



・新機軸を打ち出した幻想的かつクールなシリーズ

画像⑩《ヴィジョン》 コーヒーサービス

マイセン 1990年

装飾：ハインツ・ヴェルナー

器形：ルードヴィッヒ・ツェプナー

個人蔵



・踊るような筆致で軽やかに

画像⑪《アフロディーテ》 コーヒーサービス

マイセン 1998年

装飾：ハインツ・ヴェルナー

器形：ルードヴィッヒ・ツェプナー

個人蔵



・光と色彩を巧みに操る

画像⑫《インプレッション》

カップ&ソーサーほか

マイセン 1985年

装飾：ハインツ・ヴェルナー、フォルクマル・プレッチュナイダー

器形：ルードヴィッヒ・ツェプナー

個人蔵

◇エピローグ：受け継がれる意志

マイセンを引退した後も、ヴェルナーは幻想的で美しい作風の絵画などを意欲的に制作します。彼の晩年を辿るとともに、現在のマイセンで活躍する、ヴェルナーの遺志を継ぐ若いアーティストたちを紹介します。

・みずみずしい感性はじける

画像⑬ 《マスケラーデ》カップ＆ソーサーほか

マイセン 1991年 装飾：ハインツ・ヴェルナー、アンドレアス・ヘルテン 器形：ルードヴィッヒ・ツェプナー 個人蔵



・ヴェルナー自らの創作メルヘンを題材に

画像⑭ 《ドラゴンメロディ》コーヒーサービス

マイセン 1994年 装飾：ハインツ・ヴェルナー 器形：ルードヴィッヒ・ツェプナー 個人蔵



《関連イベント》

各イベントの詳細・参加費・申込方法等は4月初旬頃公式サイトでご案内します

1 記念対談「ハインツ・ヴェルナーの魅力にせまる」

【事前申込不要・要観覧券】

日 時：5月30日（土）午後1時30分から午後3時まで

講 師：あらかわ まさあき 荒川正明氏（学習院大学教授、本展監修者）、
かつかわ たつや 勝川達哉氏（アンティークアーカイヴオーナー）

会 場：本館地下講堂

2 スペシャルイベント「マイセンが誘うドイツ料理の魅力」

【要事前申込・要参加費】

「観る」「作る」「食べる」の3つの体験を通して、マイセン磁器の魅力を五感で味わいます。
全3回すべてにご参加いただく連続講座です。

日 時：6月14日（日）、7月12日（日）、9月6日（日）

各実施日の時間は公式サイトにてご確認ください。

講 師：あみた まさゆき 網田真之氏（レストラン「tridor」オーナー）

会 場：本館、「つくるところ！陶芸館」、レストラン「tridor」（瀬戸市内）

定 員：12名（高校生以上）



レストラン「tridor」

3 カフェイベント「ハインツ・ヴェルナーのコーヒーカップの魅力」

ヴェルナー氏デザインのマイセンのカップで、マイセンこだわりのコーヒーとドイツゆかりのお菓子をお楽しみいただきます。

【要事前申込・要参加費】

日 時：9月21日（月・祝）

午前の回：午前10時30分から正午まで 午後の回：午後1時30分から午後3時まで

講 師：いながき あおい 稲垣蒼依氏・はなだ あかり 花田明里氏（バリスタ）

会 場：本館展示室、本館カフェ

定 員：各回20名

4 親子向け鑑賞プログラム「ゆめみるものがたり」

【要事前申込・要参加費】

日 時：7月29日（日）、8月29日（土）いずれも午前11時から1時間程度

5 学芸員によるギャラリートーク

【事前申込不要・要観覧券】

日 時：6月6日（土）、7月3日（金）、8月9日（日）いずれも午後1時30分から1時間程度